

(分野) 環境美化

(テーマ) 身近な水環境の保全活動を通して環境教育

どうめき
百目鬼川をきれいにする会 代表 保園 薫
益子町

【取組みの概要】

百目鬼川をきれいにする会は、まちづくりの人材育成の場として開設された「ましこ町民大学」の卒業生が中心となって、平成 12 年 4 月から活動する。会では町の中心部を流れる百目鬼川の課題や可能性を共有して自ら行動し、美しい百目鬼川を次代に引き継ぐことを目指している。受賞歴に河川功労者表彰(平 19)、水・土壌環境保全活動功労者表彰(平 24)、とちぎの環境美化県民運動功労団体等表彰(平 27)等がある。

【これまでの主な活動】

1 月例活動(通称「川掃除」)

平成 12 年 4 月から毎月、百目鬼川とその周辺のコミ拾いや草刈り、草花の手入れを続ける。3 月で 17 年がたち、206 回の川掃除を行った。当初から益子中学校との協同プログラムで多くの中学生が参加している。



2 川にまつわるイベント

平成 12 年からホタルの夕べを開く。ホタルを学んで民話の口演やコンサート、ビルマ汁を楽しみ、ゲンジボタルを鑑賞する。芳賀青年の家との連携でほたるかごや藍染めのワークショップ、源流ハイクも行っている。



3 サマーボランティアスクール

平成 22 年から町環境課の協力をえて環境保全の先進地視察を行う。サマボラはプログラムの修学旅行でもあって、生物調査の実習や先方の活動への参加によって参加者が自己研さんに励み、会の活性化も図っている。



【これからの活動予定】

1 風景遠足と笹舟プロジェクト

風景遠足は土祭に由来し、川面をさかのぼって川の地図づくりを行う計画である。笹舟プロジェクトは時に荒ぶる百目鬼川の、穏やかな表情を探る試みになる。

2 百目鬼川の流域ネットワーク

百目鬼川はふるさとの川であり、百人百様の関わり方がある。これからは地元の自治会や環境保全会、小中学校との連携をさらに深めていきたい。

